

優秀賞 赤羽小学校

<ビオトープ>

外部講師による環境学習会や児童の理想とするビオトープに関する意見交換を行い、児童一人ひとりが持続可能なビオトープを築くための取組を考案しました。生き物と環境の関係などの生態系について調べる中で、鳥が生態系を繋ぐ役割があることに児童が気付き、鳥を呼び込むための巣箱を製作し、設置に適した場所や方法も調べた上で、木に設置するという独自性のある取組を行いました。

児童の学習やアイデアを生かして独自性のある取組を展開し、生き物を呼び込むために積極的に行動した点が高く評価できます。

<3R>

上級生がエコ活動について学び、その内容を下級生に発表する「エコスクール赤羽発表会」を行いました。特に、継続して行っているペットボトルキャップの回収では、リサイクル工場を見学し、再資源化の工程など、学んだことを発表しました。その結果、目標値である10kgの20倍もの回収量に至り、全校児童の環境への意識が向上したことがうかがえます。

さらに、児童が考案したご当地メニューを取り入れたり、給食残菜量の削減を呼びかけるポスターの制作や放送を行った結果、野菜の残菜量を半数近くまで削減するなど、児童が主体となって活動の輪を広げ、数値的に成果を出した点が高く評価できます。



作成した巣箱



エコスクール赤羽発表会